



区民の皆様へ

第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会

協議会だより

2015

第32号

平成27年8月1日発行

■発行 第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会／会長：高見澤忠明

■編集 総務広報部会 広報委員

健康福祉環境部会

第五地区老人クラブ連合会春季大会

～ご長寿おめでとうございます～

第五地区長寿をお祝いする会が、6月5日（金）に中御所公民館で開催されました。

式典には、長野市加藤市長代理、寺澤市議、各町区長ほか関係者が出席し、須田会長は「皆さんご長寿でご健康で今日を迎えられたことは、私にとりまして非常に嬉しいことです。私も皆さんと同じ年になるまで元気でいなければという気持ちになります。今後ともますますお元気で過ごしてください」と、あいさつされました。来賓あいさつでは、高齢者福祉課飯島課長は「長野市がこのような発展を遂げたのも、皆さまのご努力の賜物と心から敬意と感謝申し上げます。長野市では、高齢者福祉行政の指針として、“安心いきいきプラン”を策定していろいろな事業を進めてまいります。本年度は新しい事業の初年度で、『自分らしく、住み慣れた地域で、安心して生活できる健康長寿のまち長野を共に築きましょう』を基本理念に掲げております。昔は高齢者というと支えられる側でしたが、現在は一緒になってまちづくりを進めていただくため、先輩方々には教えていただき、ご活躍いただきたい」とごあいさつされました。

次いで、青木岡田町区長の乾杯の音頭で祝宴がはじまり、皆さん和やかに歓談され、楽しいひと時を過ごされました。これからも健康に留意されて、健やかに過ごささせていただきますように。



【本年度の慶祝者ご芳名】(敬称略)

【米寿】：内山勝己、小池睦義、内藤和夫、内藤てる江（中御所）、祖山三郎、小布施恭子（南石堂町）

【金婚】：鎌田 明、鎌田ひろ子（北石堂町）【ダイヤモンド婚】：白川 武、白川 信、内藤和夫、内藤てる江（中御所）

健康福祉環境部会（環境委員会）

裾花川河川敷清美作業

～河川敷がきれいになりました～

本年度第1回目の裾花川河川敷清美プロジェクトが、前日までの天候と打って変わって快晴に恵まれた、6月7日（日）朝8時から2時間にわたり、総勢100人近くが参加して行われました。春になり河川敷は一気に伸びた雑草で一面覆われておりました。

作業箇所は、裾花川左岸河川敷の長野保健所からJR鉄橋の間を岡田町・北石堂町が、下流のJR鉄橋からあやとり橋間を南石堂町・末広町・中御所が分担して作業に取り組みました。また、今年も地元企業の甲信マツダさん・八十二銀行さんなどの応援をいただき効率よく作業が進められました。小正月のどんど焼きをした場所も雑草・雑木が一面勢よく伸び、ビーバーなどで刈り取る人、鎌で刈る人、熊手で刈り取られた雑草をかき集めて袋に詰める人と、連携して手際よく作業し、きれいな河川敷となりました。

須田環境委員長は「皆さまの参加で、きれいに清美されました。次回は11月頃の予定ですので皆さまのご協力をお願いします。きれいに清美された河川敷を、朝夕の散歩などにご活用ください」と語られました。



日本一の門前町《大縁日》 おもてなしの心でお接待

南石堂町
より

おもてなしの『お休み処』 ～大勢の観光客が休息に立ち寄りました～



7年に一度の善光寺御開帳が、4月5日（日）から5月31日（日）まで開催されました。新幹線の金沢延伸で、多くの参拝客が訪れることが予想され、長野市では期間中「おもてなし」の心で対応し、表参道の末広町から善光寺までの中央通りは、「毎日がお祭り」のご縁ストリートになり大変な賑わいでした。

善光寺の玄関口に位置している南石堂町では、南石堂町商店街振興組合と共催して「南石堂町おもてなし委員会」を立ち上げ、シューマートさんの空き店舗を借用し、「南石堂町お休み処」を設け、御開帳期間中の土・日曜とゴールデンウィーク中の24日間開催しました。

4月4日（土）前立本尊御遷座式で御開帳がスタートした日に、『お休み処』のオープニングセレモニーとして、寺澤市議、藤橋長野市地域活動支援課長ほか関係者が出席して開所式が行われ、24日間のおもてなしがスタートしました。会場には山王小学校と西部中学校の児童・生徒の「絵画・書道」、長野駅周辺の変遷を写した「思い出の写真」、東山魁夷画伯のリトグラフ「白馬の森」などが展示されました。

刀根川公民館長と振興組合の奥村婦人部長などを先頭に、ご婦人方がボランティアでお接待されておりました。ボランティアの皆さんは、そば茶と信州名産の野沢菜とお菓子でおもてなし、パンフレットで説明したり、観光客と和やかに歓談して交流を図り、大変喜ばれておりました。

備え付けのノートには「四国八十八か所巡りのご接待を連想しました。心身ともに温かい善光寺さんの慈悲の心の一端に接した思い出に残るひと時になりました。本当にありがとうございました。」と書かれておりました。

ゴールデンウィークがスタートした4月29日（水）には、300人以上、5月23日（土）には450人が立ち寄り、開館中は大変な混雑で、ボランティアのご婦人方はお接待にてんてこまいしておりました。前の通りではさまざまな路上イベントが催され、期間中に約3,500人が休息で立ち寄り一息つかれておりました。

御開帳期間中に中心市街地の一等地に無料の『お休み処』を開設して「おもてなし」に貢献したことに、市庁舎内でも高い評価をしているそうです。



北石堂町
より

空き店舗で『間借り美術館』 ～善光寺門前展でおもてなし～



北石堂町商店街振興組合では、善光寺御開帳期間中町内のかるかや山西光寺前の空き店舗で『間借り美術館』を開設し、毎週金・土・日曜日とゴールデンウィーク中にお休みスペースを設けて観光客などをおもてなししました。



美術館には、東山魁夷画伯の「山湖遥か」などリトグラフ5点、写真、子どもが路上で屏風に描いた空から見た「未来の街」などと、AC長野パルセイロのユニフォーム・お宝グッズなどが展示され、沢山の人が立ち寄って、休息がてら鑑賞しておりました。



中央通りでは、さまざまな路上イベントが行われ、特に5月3日には初のおさこい踊り『NAGANO善光寺よさこい』が開催され、県内外から22チーム400人余が参加し、歩行者天国の路上で若者が元気いっぱいの熱演で、大勢の観衆が見入り大きな拍手が起こっておりました。

地域福祉活動計画について

～現在の進行状況を報告します～

地域福祉活動計画につきましては、協議会だより第26号でお知らせしましたが、現在13名の策定委員で計画づくりに取り組んでおり、進行状況を報告します。

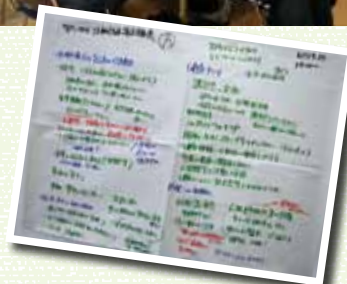
昨年5月に地域住民の皆さまに、安全で安心して暮らしていただけるよう、アンケートで日頃感じておられること、どんなことを望んでおられるかなど貴重なご意見をご回答いただきましたが、現在このご意見を分析して、第五地区に合った計画をつくるために、これまで毎月1回のペースで10回の策定委員会を開催し、社会福祉協議会の協力を得て取り組んでおります。

この計画は、第五地区のキャッチフレーズ「誰もが 何時でも 居心地良い 第五地区」となるよう、みんなの手で福祉のまちづくりを目指して、「ふ

れあいのまちづくり」、「支え合いのまちづくり」、「住みよいまちづくり」、「みんなで関わるまちづくり」をメインテーマとして、具体策を取りまとめるため、2つのグループに分かれて目標設定して計画づくりを進めております。

来年1月頃までには、計画の検討結果を取りまとめ、平成27年度中には皆さまに計画書を冊子に取りまとめお届けできるよう作業をしております。

今後ともご理解の上、ご協力をいただきますようお願いいたします。



各町からのお知らせ

中御所
より

学業講祭(合格御礼祭) ～おかげさまで合格しました～



めっきり春めき、まち中では福寿草、梅、サンシュユが咲き始めて、穏やかな日に恵まれた3月22日(日)に、中御所に鎮座する学問の神様が祀られている御所天満宮に、2月に合格祈願して見事に合格した生徒さんと親御さんが、御礼に訪れました。

合格祈願祭が斎藤宮司により厳かに執り行われ、学童はお祓いを受け、玉串を祭壇に捧げました。

斎藤宮司は訓話で「見事に合格できましたのは、神様のおかげ、親のおかげ、家族のおかげです。これからは、新しい学園で大いに勉学に励み、楽しんでこれからの目標を描いてください」と述べられました。地域を代表して篠原中御所区長は「この社は学問の神様菅原道真公を祀った御所天満宮と、勝利の神様を祀った八幡宮の二つの神様が祀られているパワースポットです。皆さんも困ったり、悩んだりしたらこの神様に参拝にお出かけください」とあいさつされました。

野球仲間3人で合格して御礼に訪れた、中御所在住で中3の小嶋悠太君は「合格してホットしております。今まで受験勉強に一生懸命取り組んでおりましたので、これから野球に集中したいと思います」と語られました。

来年受験を控えている皆さんも、2月には学業成就祈願祭(合格祈願祭)が行われますので、一生懸命勉学に励んで、この祈願祭に訪れてはいかがでしょうか。



各町からのお知らせ

中御所・岡田町 より

柳原神社春季大祭 ～五穀豊穰を祈りました～

柳原神社は善光寺七社の一つで、かつては善光寺の注連縄などをここで焼いたため、笹焼神社とも呼ばれ、タケミナカタノミコト健御名方命を祀り、旧名は諏訪大明神と呼ばれておりましたが、1818年（文政元年）に現社名に改称されたそ



うです。また、中御所・岡田町の氏神様として大勢の方に崇拜されております。

5月4日（月）の午後に春季大祭が、中御所、岡田町の関係者が参列して、齊藤宮司ほか2名の神主により厳かに五穀豊穰、安全祈願が執り行われました。

秋には、秋祭りが盛大に執り行われます。



第五地区 より

7年に一度の盛儀 善光寺御開帳 ～祈り・感謝など、さまざまな思いの57日間～

桜が咲き始めた4月5日の開闢大法要で秘仏となっているご本尊の分身・前立本尊の厨子の扉が7年ぶりに開かれてから57日間、仏都を一色に染めた善光寺御開帳は、参拝客は過去最高のペースで推移し、5月31日の結願大法要で、夕方5時に前立本尊を納める厨子の扉が閉じられました。

御開帳開幕直前に金沢まで延伸開業した北陸新幹線、夜間参拝に配慮した回向柱のライトアップ、市の交通渋滞対策、長野駅から善光寺までの表参道ではウエルカム長野2015実行委員会が「日本一の門前町大縁日」と銘打った多彩なイベント、5月に入って好天に恵まれたことなどもあり、過去最高の賑わいでした。



3月29日には本堂前に立つ回向柱が松代から寄進され、松代住人による大名行列や姫行列と共に奉納行列の回向柱受入式で始まり、4月3日には善光寺木遣りが響く中、回向柱が建立されました。期間中は善の綱で結ばれている回向柱に結縁を求め、これに触れるのに長蛇の列で、1時間から2時間待ちの状態がしばしば見られました。

表参道では、篠ノ井地区の勇壮に舞う大獅子奉納や、各地区の伝統芸能など、連日各種のイベントが開催され、大縁日を盛り上げるのに大いに貢献されました。

第五地区管内でも、南石堂町では『お休み処』を開設し、お接待で参拝客と交流をはかり、お茶などで「おもてなし」て、ひと休みする場を提供し大変喜ばれました。北石堂町では『間借り美術館』を開設し、5月3日には路上で、『NAGANO善光寺よさこい』を開催し、大変な賑わいで反響をよびました。

7年に一度の盛儀善光寺御開帳は、祈り・感謝・惜別などさまざまな思いが入り混じって感動に包まれ、57日間で目標の700万人を上回る、707万7700人（前回に比べ34万人、5%増）の参拝客を記録し、幕を閉じました。



事務局

第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせ下さい。

〒380-0833
長野市大字鶴賀権堂町2201番地20
権堂イーストプラザND 1階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)
メール dai5@feel.ocn.ne.jp